

地下水汚染が局所的に見られた地点について

1. 調査の経緯

旧日本建鐵株式会社工場跡地の土壌汚染周辺井戸水質調査（平成27年5月から8月実施）においてトリクロロエチレン等の地下水汚染が明らかになりました。

土壌汚染周辺井戸水質調査において、汚染が局所的に見られた地点のうち土壌汚染周辺井戸水質調査地域の際で汚染原因と範囲が特定されていない地下水汚染（別紙B地区及びD地区）が確認されたことから、その汚染原因と範囲を確認するため汚染井戸周辺地区調査を以下のとおり実施しました。

2. 調査概要

調査期間 平成28年2月10日から2月23日

調査井戸 B地区とD地区の汚染井戸を中心に200mの範囲内にある井戸
（土壌汚染周辺井戸水質調査の範囲を除く）

B地区汚染井戸：海神4丁目（トリクロロエチレン0.011mg/L）

D地区汚染井戸：北本町2丁目（トリクロロエチレン0.29mg/L）

調査項目 トリクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、
1,2-ジクロロエチレン、塩化ビニルモノマー

3. 調査結果

調査したB地区井戸2本、D地区井戸8本のうち、D地区の4本の井戸においてトリクロロエチレンの地下水環境基準超過が見られました。

D地区超過井戸4本の濃度範囲 0.011～0.17 mg/L（環境基準値 0.01 mg/L）

B地区井戸2本は不検出

なお、基準を超過した井戸使用者には、保健所職員が直接訪問し、飲用指導を行いました。

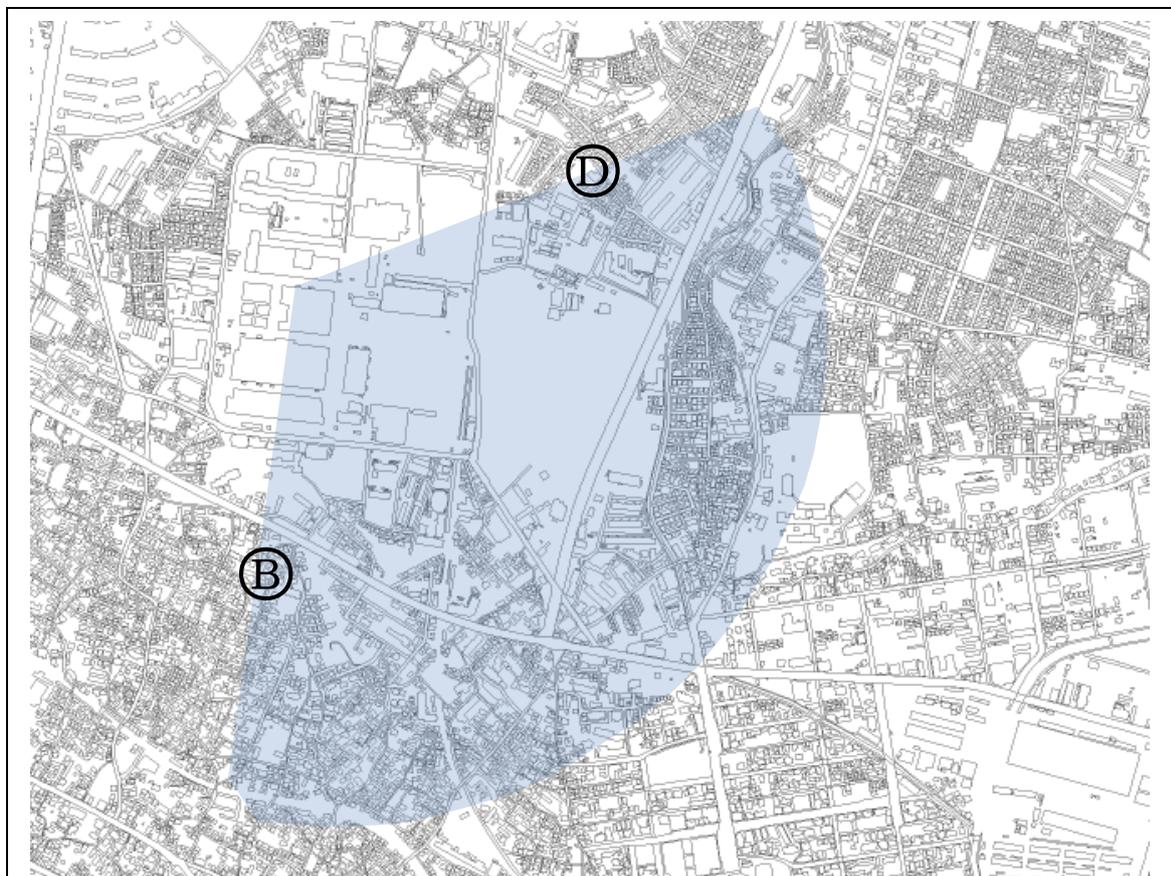
4. 今後の対応

D地区については、汚染井戸付近に基準値の1.7倍の井戸がありましたが、その他の井戸については、基準値以下または基準値の2倍以下であり、汚染の広がりはありませんでした。なお、この周辺には、過去にトリクロロエチレン等を使用していた事業場が数か所あり、原因の特定には至りませんでした。

今後は汚染が確認された地域について継続的に監視を行い、水質の変化を注視してまいります。

別紙

汚染井戸周辺地区調査位置



扇形の網掛けは土壌汚染周辺井戸水質調査範囲